

平成 30 年度長久手市福祉有償運送運営協議会 議事録要旨

日時	平成 30 年 4 月 9 日 (月曜日) 午後 2 時 30 分から午後 4 時まで
場所	ながくてエコハウス 多目的室
出席委員 (敬称略)	名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科 教授 松本幸正 つばめ自動車株式会社 代表取締役社長 天野清美 名古屋タクシー協会 副会長 石川優 全自交愛知地方連合会 執行委員長 服部達彦 長久手市シニアクラブ連合会 岩作三・四シニアクラブ 会長 澤口和訓 長久手市民生委員児童委員協議会 会長 加藤康彦 長久手市ボランティアセンター運営委員会 会長 水野美々子 特定非営利活動法人百千鳥 理事長 竹田晴幸 (代理出席) 社会福祉法人むそう 支援員 鶴田菜々子 中部運輸局愛知運輸支局 主席運輸企画専門官 (輸送担当) 杉本忠久 中部運輸局愛知運輸支局 運輸企画専門官 黒田博昭 長久手市 福祉部長 中西直起
欠席委員 (敬称略)	長久手市身体障害者福祉協会 副会長 青山暁子
事務局	長久手市 福祉部次長 中野智夫 福祉部福祉課 課長 若杉雅弥 課長補佐 遠藤健一 福祉係長 山田菜美 福祉係主事 野田悠子 福祉係主事 野村こはる 福祉部長寿課 課長 出口史朗
主な内容	1 あいさつ 2 議題 (1) 平成 29 年度福祉有償運送運営協議会の振り返り (2) 福祉有償運送事業及びドライバー募集の周知について (3) NPO 法人百千鳥の事業の更新について 3 その他
傍聴者	0 人

議事録

1 あいさつ

会 長：年度始めの忙しい中集まっていただき感謝しています。本日の会議の主な議題は NPO 法人百千鳥の事業更新についてである。また、長久手市では様々な課題を抱えている。更新がふさわしいかどうか、そして市の課題解決にむけて話し合っていきたい。

2 議題

(1) 平成 29 年度福祉有償運送運営協議会の振り返り

＜資料 1 及び資料 2 をもとに事務局から説明＞

事務局：これまでの協議会において、福祉有償運送の必要性を御協議いただいた。その結果参考資料のとおり、障がいのある人や高齢者など移動に困難を感じる人は増加しており、公共交通では対応しきれない現状がある。そのため、長久手市では福祉有償運送が必要という共通認識をもつことができた。事業実施にあたり、長久手市では様々な課題を抱えている。その課題を資料 1 にまとめた。移動に困難を感じており支援が必要な人に福祉有償運送を知っていただくこと、ドライバーの担い手を増やすこと、利用者からの意見を集約する手段を検討することの 3 点が課題である。担い手を増やすためには、障がい事業所だけでは対応しきれないため、介護事業所へ事業説明と意向調査を行った。その結果は資料 2 のとおり、現状ではどの事業所も人材不足等を理由に新規参入の意向はなかった。

会 長：事務局の説明から、この事業の厳しさを感じている。現在、長久手市で事業を実施している事業所のありがたさも実感している。

委 員：福祉有償運送事業実施に関する意向調査結果において、回答数が少なかったことや実施を希望する事業所が少なかったことは、ある程度予想できていた。介護事業所はそもそも人材が足りておらず、本業以外に着手するのは困難である。この人材不足の状況はますます深刻化するだろう。ボランティアの人数もこの 10 年で減少しているが、その一方で、若いボランティアの人は少しずつ増えている。従来の実施方法だけではなく、実施事業者からもヒアリングし、新規事業者の参入やボランティアの増加を促してはどうか。

会 長：福祉有償運送利用者やその家族から意見を集約する方法について何か良い提案はあるか。

委 員：他自治体でもあまり事例はないと思われる。家族と支援者間で利用状況等の報告や利用者の様子を共有している。運輸局にもホームページのメールフォームや窓口があるため、そちらでも意見を受け付けている。

会 長：既存の窓口を案内することも有効である。年に 1 回程度利用者や家族にヒアリングを実施しても良いかもしれない。

(2) 福祉有償運送事業及びドライバー募集の周知について

＜資料 3 をもとに事務局から説明＞

事務局：福祉有償運送を利用したいが担い手不足のため利用できない人がいることを解消するため、担い手を増やすための周知方法としてチラシを作成し、市内に設置した

い。チラシ案は資料のとおり。設置場所は市役所やボランティアセンター、介護職員初任者研修会場、その他市内公共施設を想定している。公共施設はボランティアに興味があり、時間に余裕のある人が多い場所に設置したい。

委員：チラシはいつから配布する予定か。また、チラシの反応調査は行うのか。

事務局：チラシの内容に問題がなければ、この会議後に掲示を始めたい。ボランティアセンターと情報共有し、チラシを見て問い合わせた人がいたかどうか把握していきたい。

委員：チラシはもう少しわかりやすく、楽しい感じにしているか。

会長：チラシ案は原案であり、決定稿ではない。みなさんの意見をお聞きしたい。確かに福祉有償運送ドライバーという名称はわかりづらい。ボランティアドライバーという名称であれば分かりやすいかもしれない。

委員：ボランティアをしたいと思っても、運転技術に自信がないためにドライバーへの応募を諦める人もいるだろう。安全講習を前面に出した広報も一つの方法である。

委員：講習が（市の補助があるため）安価であることもPRするとよい。

委員：運転免許更新を行う場所にチラシを置けるよいかもしれない。

会長：事務局のチラシ案は、ドライバー募集を重視しており、福祉有償運送制度の広報媒体としては弱いかもしれない。事務局としては、まずは担い手を増やすことを優先し、その後制度の周知に努めるという方向性ということか。

事務局：そのとおりである。

会長：方向性はそのままでもよいが、各委員からの意見を踏まえ、チラシ案の見直しを行ってほしい。見直した結果をまた各委員と協議したい。

(3) NPO 法人百千鳥の事業の更新について

<資料4をもとに事務局から説明>

事務局：5月にNPO法人百千鳥の事業登録期間が終了となる。資料を御確認いただき、事業更新について協議をお願いしたい。

委員：ドライバー資格について、過去2年間の免許停止や違反の有無等は確認しているか。

事務局：免許証の確認と違反がないことを口頭で確認している。

委員：違反状況については、運転経歴証明書等公的な記録で確認するべきである。

委員：今回の更新にあたり、直近の事業内容や実施状況を確認したい。また、事業実施にあたり困っていることはあるか。

会長：平成29年度の年間実績はまだとりまとめている段階である。また、事業の必要性については、前回の協議会で話し合い事業が必要であると確認したところである。

委員：手元の資料に3月分の実績はあるが、年間の集計を出すことはできるか。

事務局：可能である。

委員：資料にある登録証の写しは前所在地となっているが、変更届は提出しているか。

委員：提出している。

委員：運賃の変更はないか。

- 委員：変更はない。
- 委員：運行管理責任者の二人が同時に出ることはあるか。
- 委員：双方が同時に出ることはない。
- 会長：運輸局にこの資料は事前提出されているか。
- 委員：されていない。
- 会長：変更点はあるか。
- 委員：ドライバーの増員と車の増台がある。
- 会長：いつもこの協議会で出されている実績表を確認したい。また、確認であるが、運行中の事故等により利用者が負傷したりする場合の補償はこの保険内容で問題ないか。
- 委員：同乗者の場合は対人での補償となるため問題ない。
- 会長：事故や苦情はあるか。
- 委員：ない。もっと事業を実施してほしいと言われるくらい期待されている。
- 会長：実施事業者として課題はあるか。
- 委員：担い手を増やすための環境づくりが課題である。ドライバーをただ募集するだけではなかなか人は集まらない。ボランティアが集まる場に出向き、ドライバー募集を呼びかけたい。そのような場所で空いている時間でドライバーをやってみないかと声をかけた方が集まりやすいのではないかと思う。現状では、福祉有償運送はヘルパーの付随的業務となっており、担い手は増えていかない。また、コーディネーターが退職してしまい、ボランティアのリーダーとなれる人材が必要である。ドライバーとしての活動を楽しそうだと感じて応募してくれる人を増やしていきたい。
- 委員：法人として障がいのある人の就労支援もしているのか。
- 委員：将来的には支援をしている人の中からドライバーとなってくれる人が現れるとよいと思っている。
- 会長：アメリカではボランティアが集う場がある。ボランティアだけではなく、支援を受ける人たちと意見交換をすることもある。そのような仕組みがあるとよいと思っていたので、ぜひ取り入れてほしい。意見交換だけではなく、パーティーをしたり、広報誌を発行したりしている。更生の場としても活用されている。ボランティアをする目的が重要である。
- 委員：ボランティアセンターのボランティア登録数はとても多く、登録目的は趣味重視かボランティア重視かの大きく2つに分かれる。その特徴をうまく活用したい。また、何かしてみたいが活動が見つからない個人ボランティアもいる。そのような人とも連携を図りたい。
- 会長：ボランティア活動が長続きするコツはあるのか。
- 委員：ボランティア活動を通して自身の成長を実感できるかどうかだと思う。
- 会長：保険の継続は確認するか。
- 事務局：保険を更新する度に確認する。
- 会長：今回事務局から提出された資料をもとに協議した結果、問題はないと思われるため、実績報告の確認及び後日運転経歴証明書を確認することを前提に、NPO法人百千鳥の事業更新を承認することとしてよいか。

委員：異議なし

3 その他

事務局：今後の協議会については、年2回程度実施したい。1回目は毎年6月または7月としたい。毎年5月頃に実施事業者から運輸局へ前年度の実績報告を行っているため、その報告内容を踏まえて前年度の振り返りを行いたい。2回目はドライバー講習会の報告のために11月または12月頃に開催したい。

会長：今までは、事業者の更新等に合わせ随時開催していたが、今後は定期的に開催したいという意向だがどうか。

委員：異議なし

会長：その他、委員から意見等あるか。

委員：特になし

事務局：先ほどの提案したとおり、次回は各事業者から運輸局への報告後に開催予定である。後日日程調整を行うため、ご協力をお願いしたい。

閉会